

2018年5月16日

三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社

2017年度東海3県主要集客施設・集客実態調査

～大規模商業施設開業が相次ぐ中、イベント開催・新規投資が奏功～

三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：村林 聡）は、「2017年度東海3県主要集客施設・集客実態調査」の結果を取りまとめましたので、お知らせいたします。

調査の目的

本調査は、東海3県の集客施設における集客実態の把握を目的として、毎年、集客施設に対するアンケート調査を実施しているものとなります。集客人数や増加率のランキング、集客施設での消費動向・消費単価、集客に与える影響の要因などについて、数値化・分析しています。

調査結果の要旨

- 集客人数ランキングでは、73施設中、ナガシマリゾートが1,530万人と12年連続の首位。アウトレットモールの増床オープンが集客増に寄与。
- 対前年度比では、5割の施設で減少したが、前年度調査からは回復傾向。増加率首位(+23.7%)の「名古屋国際展示場 ポートメッセなごや」(愛知県名古屋市)は、「ロボカップ2017世界大会」等、大型イベントの開催で集客を伸ばした。
- 2017年度は名古屋駅ほか周辺地域で大規模商業施設が開業したが、この影響について、「特に影響はなかった」、「好影響・悪影響どちらともいえない」とする回答が多くを占めた。

調査結果の詳細につきましては、当社公式ホームページ掲載の[政策研究レポート](#)をご覧ください。

【本件に関するお問い合わせ】

三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社
観光政策室[名古屋] 主任研究員 内田 克哉
〒461-8516 名古屋市東区葵 1-19-30 マザックアートプラザ

【報道機関からのお問い合わせ】

コーポレート・コミュニケーション室 杉本(TEL:052-307-1106)、村田(TEL:03-6733-1005)
E-mail:info@murc.jp

配布先 名古屋金融記者クラブ